

**特別研究論文**

研　究　題　目

|  |
| --- |
| ここに研究題目を書く |

|  |  |
| --- | --- |
| 提出年月日 | 令和〇年 〇月 〇日 |
| 氏　　　名 |  |
|  |  |
| 主　　　査 |  |
| 副　　　査 |  |
| 指 導 教 員　　　査 |  |

香川高等専門学校

専攻科

電子情報通信工学専攻

[1. 序論 - 1 -](#_Toc531626527)

[1.1. 背景 - 1 -](#_Toc531626528)

[1.2. 目的 - 2 -](#_Toc531626529)

[2. ○○○○○・・・ - 3 -](#_Toc531626530)

[2.1. 従来の技術 - 3 -](#_Toc531626531)

[2.2. 点 - 5 -](#_Toc531626532)

[2.2.1. の設計 - 6 -](#_Toc531626533)

[2.2.2. 体モード - 6 -](#_Toc531626534)

[2.2.3. エネルギー減衰を表 - 7 -](#_Toc531626535)

[2.2.4. 理論学習モード - 9 -](#_Toc531626536)

[2.2.5. 学習効果確認モード - 10 -](#_Toc531626537)

[3. 試験 - 12 -](#_Toc531626538)

[3.1. 体 - 12 -](#_Toc531626539)

[3.2. ド - 14 -](#_Toc531626540)

[3.3. 学習効果確認モード - 15 -](#_Toc531626541)

[4. 結論 - 17 -](#_Toc531626542)

[謝　辞 - 17 -](#_Toc531626543)

[参考文献 - 18 -](#_Toc531626544)

# 序論

## 背景

ここに、研究を開始するのに至った経緯を書き、“研究をする意義“、“研究の価値“を説明する。これまで、自分の研究に関連した研究は、どのようなことが行われてきたか、どこまでできていて、何が問題だったかなどを、文献（先行研究）をもとに明らかにする。それをもとに、研究の意義、研究の重要性、研究の価値、を説明する。

## 目的

本研究がなにをしようとしたものかを、明確に記述する。

# 　○○○○○・・・

## 従来の技術

従来

図1　従来の技術の概要

図2　粒流れ

## 　点

図3　流れ

### 　　　　の設計

図4　画面

### 体モード

図5　画面

### エネルギー減衰を表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 数式 |  |

表1　構造

図6　画面

図7　画面

### 理論学習モード

図8　画面

### 学習効果確認モード

図9　画面

# 試験

## 体

きる。

図10　画面

した。

図11　画面

## ド

トップフ

える。

図12　画面

## 学習効果確認モード

図13　画面

# 結論

# 謝　辞

本研究を進めるにあたり、ご指導を頂いた　　　　　　　に深く感謝致します。

# 参考文献

1. 玉城龍洋, “確率速度モデルとCA法による交通シミュレーション,” 情処学論, 45, 3, pp. 858­869, 2004.
2. 棚橋巌,“広域交通流シミュレータNETSTREAM,”豊田中央研究所R&Dレビュー, 37, 2, pp. 47­53, 2002.
3. 山内弘隆，電力システム改革の検証，pp. 68­98, 白桃書房，2015.
4. A.K. Iyer and G.V. Eleftheriades, “Negative refractive index metamaterials supporing 2-D waves,” IEEE MTT-S Int. Symp., 2, pp. 1067-1070, 2002.